

毎月第三日曜日

認知症の情報交換・予防・相談ができるカフェ

オレンジカフェ静岡

10/21 2~4時

飲み物・お菓子
各100円



今月のお話

いゆう
畏友

太田宏人師

真に抛り所となる他者

たんぽぽ診療所 遠藤博之先生

昨年は「スピリチュアルケア（魂のケア）」のお話をさせていただきました。今回も、私たち人間の、人生の、奥深いところに目を向けてみたいと思います。

「『スピリチュアリティ』とは人間存在の根源的領域にあり、人生のどのような状況の中でも、人間らしく、自分らしく生きるために、『真に抛り所となる他者』を求めること。その力は、特に危機的状況で発揮される。」と、在宅診療医の第一人者といわれる山崎章郎氏は言っています。

「真に抛り所となる他者」とは、どのような人でしょうか？

私と上藤美紀代さんの共通の友人に太田宏人さんという方がいます。今年、四十八歳という若さで亡くなられました。以下は、上藤さんが私に転送してくださった、「仏教看護・ビハーラ学会」からの訃報です。

長い間闘病されていた太田宏人さんが五月十五日に亡くなられました。

太田さんの支援活動は常に手の行き届かないところに手を伸ばすというものでした。

3・11直後、支援も入らず瓦礫と遺体が放置されていたいわきへぼぼ裸一貫バイクで向かい、被爆を厭わず回収作業の傍ら現地からSOSを発信されました。

熊本の震災では、誰も手を出そうとしなかった避難所のトイレ掃除を毎回一心に行われ、

遠藤博之先生
たんぽぽ診療所院長
元静岡済生会総合病院腎臓内科医長・緩和診療科科長
この間、緩和ケア研究会を主催、やさしさを追求する医療」を目指されている。

恒例の

上藤美紀代による

声のワークショップ

声と喉を鍛えましょう



SBSの先輩、國本良博さんに久しぶりに御目に掛かりました。来年には古希を迎えられるとか（私も齢を重ねたはずです）。細々とではありますが、テレビやラジオの仕事が続けいらっしやいますので、喉や声のケアについて伺ってみました。すると「何ととっても、しゃべることと歌うこと！」との明答が。「しゃべる」とは、相手と向き合い、その人に、自分の思っていること、感じていること、考えていることなどをしっかり“伝える”（伝えようと努める）ことで、これは脳の活性化のみならず、身体の活性化にもつながるといいます。つまり、有酸素運動に加え腹筋・背筋などをつかうことによって肉体の衰えを防げるということです。歌うことも同様。絵本専門士としては、誰かに絵本を読んで差し上げることもお奨めです。日々の積み重ねの大切さを改めて教わりました。

今月は最後に次の童謡を合唱しましょう。

- ・ もみじ
- ・ ゆうやけこやけ
- ・ 七つの子
- ・ 里の秋

（二面からの続き）
その活動を知る多くの者に感銘を与え、「トイレの仏様」として尊敬される日本では全く稀有なお坊さんとなられました。
今回は、太田さんの書かれたものを通して、「真に抛り所となる他者」について考えてみたいと思います。
今月の相談担当者
今月は、静和会ケアプランセンターから、河野ななこさん（ケアマネジャー・介護福祉士）がいらして、皆様の相談に応じます。

予告 十一月のミニ講話

演劇に触れるひととき

舞台俳優 永井健二さん

顔の体操や簡単な発声練習を通して、演劇の世界に触れてみませんか？また、芥川龍之介の短編小説『蜜柑』を、プロの俳優による「朗読パフォーマンス」でお楽しみいただき、みなさんを非日常のひとときへお連れします。（永井さんより）
十一月は、SPAC（静岡県舞台芸術センター）で活躍されている舞台俳優の永井健二さんが、演劇の魅力について、実演を交えてお話ししてくださいます。永井さんは現在フランスでご公演中です。楽しみです。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主催 特定非営利活動法人
ヒューマン・ケア支援機構

連絡先 ☎ 090-5620-6070

✉ orange@npo-humanicare.jp

※駐車場有ります

バスでお越しの場合、静岡駅北口から、5、6番のすべてのバスで、横内町静岡学園前下車。徒歩5分。バス停に案内人がいます。